

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	スマートスクール推進事業費		新規・継続の別		一部新規
	714,600千円 (うち2月補正 469,000千円)	国庫	起債	その他	一般財源
予算額		480,000	-	-	234,600
事業内容	<p>1 目的 情報活用能力の向上や、各教科等におけるICTを活用した学習活動の充実により新しい時代に必要とされる資質を身に付けるため、府内公立学校におけるICT利活用を推進</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 府立学校における生徒用1人1台タブレット端末の導入等 新規</p> <p>① 1人1台端末の全府立高校での導入に向けた検証 5校程度(※1)で、BYOD(※2)によりタブレット端末を先行導入し、学校現場における効果的な運用に向けた検証を実施 ※1 鴨沂高校、洛北高校、鳥羽高校、嵯峨野高校、峰山高校 ※2 Bring Your Own Device: 生徒個人の購入端末の持ち込み等による導入</p> <p>② 低所得世帯等の生徒への支援<2月補正> 生徒が利用するためのタブレット端末やモバイルルーターを整備(別途、高校は「奨学のための給付金」、特別支援学校は「就学奨励費」により、オンライン学習に必要な通信費相当額を補助)</p> <p>(2) 学校現場でのICT利活用推進に向けた支援 拡充</p> <p>① 「ICT利活用サポートセンター」による授業支援 民間企業やNPO、大学等が参画する「ICT利活用サポートセンター」においてICT専門家と連携し、ICTを活用した授業実施のための助言・支援体制を強化</p> <p>② 新しい授業づくりリーダー教員育成研修 ICT利活用を先導的に進める市町(組合)立学校及び府立学校の教員を育成</p> <p>(3) 府立学校における教員用タブレット端末の継続整備等 一部新規 令和元年度から継続している教員用タブレット端末の整備や、令和2年度までに整備完了した端末・ネットワークの運用管理、保守等を実施</p>				
目的 対象 方法等					
担当課名	学校教育課 ICT教育推進室 特別支援教育課 企画調整係 高校教育課 振興係	電話番号		075-414-5692 075-414-5834 075-414-5859	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	次世代型学力・学習状況調査 研究事業費		新規・ 継続の別	新規	
予算額	12,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		-	-	-	12,000
事業内容	<p>1 目的 学校のICT環境が整備され学習手法も変化していることから、 現行の紙ベースで実施してきた府学力診断テストをCBT（※1）化 するとともに、学力の伸びが把握可能なIRT（※2）により、児童 生徒の学力向上に繋げる実証研究を実施</p> <p>※1 <u>Computer Based Testing</u> : コンピュータやタブレットを用いて行うテスト方式</p> <p>※2 <u>Item Response Theory</u> : 問題や受験者が異なる場合であっても、問題の難易度をものさしと して調査結果を比較可能にする理論（TOEFLや英検等で活用）</p>				
（目的） （対象） （方法等）	<p>2 内容</p> <p>(1) IRTとパネルデータ（※3）を組み合わせた学力・学習状況調査実証研究 児童生徒が自らの学力の伸びを実感し、適切な学習方法や学習に 向かう態度を習得・改善するとともに、教員が客観的データに基づ いて改善された効果的な指導・支援を行うことにより学力と非認知 能力を向上</p> <p>※3 パネルデータ : 児童生徒一人一人の変化を継続的に把握する手法</p> <p>(2) CBTシステム構築・活用実証研究 GIGAスクール構想で配備された1人1台端末を用いて児童生徒 の学力や学習状況を測定し、結果の早期活用と個に応じた指導の充実 につなげるCBTシステムを構築</p>				
担当課名	学校教育課 指導第1係	電話番号	075-414-5833		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	子どものための京都式 少人数教育推進費		新規・ 継続の別	継 続																
予算額	4,014,868千円	国庫	起債	その他	一般財源															
		1,112,877	-	-	2,901,991															
事業内容 （目的） （対象） （方法等）	1 目 的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。																			
	2 内 容 (1) 京の子ども・少人数教育推進費																			
	<table border="1"> <tr> <td>予 算 額</td> <td colspan="4">3,716,201千円</td> </tr> </table>					予 算 額	3,716,201千円													
	予 算 額	3,716,201千円																		
	○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置 ○配置した定数を活用し、市町村教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・チームティーチング・少人数学級を選択して実施																			
	<table border="1"> <tr> <td>少人数授業</td> <td colspan="4">児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td> </tr> <tr> <td>チームティーチング</td> <td colspan="4">学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td> </tr> <tr> <td>少人数学級</td> <td colspan="4">市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制</td> </tr> </table>					少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開				チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開				少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制			
	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開																		
	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開																		
	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制																		
	中学校少人数教育推進費 ○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消 又は ○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能																			
(2) 小学校低学年指導充実費																				
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">配置学級数</td> <td>1年</td> <td>111学級</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>119学級</td> </tr> <tr> <td colspan="2">予 算 額</td> <td>298,667千円</td> </tr> </table>					配置学級数	1年	111学級	2年	119学級	予 算 額		298,667千円								
配置学級数	1年	111学級																		
	2年	119学級																		
予 算 額		298,667千円																		
○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を実施 ○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用																				
担当課名	教職員人事課 人 事 係 学校教育課 指 導 第 1 係		電話番号	075-414-5789 075-414-5833																

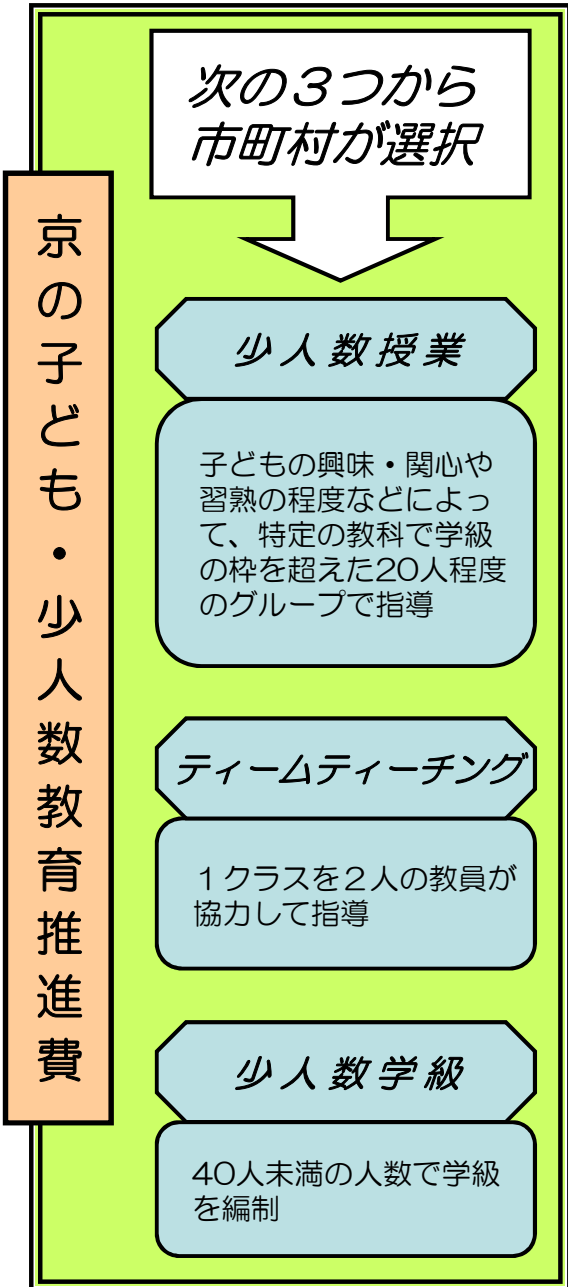
子どものための京都式少人数教育推進費

小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう少人数教育を充実

小1・小2の35人学級の
実施（継続）

小学校
1年
2年

**小学校低学年指導充実費
（継続）**
 予算額 298,667千円
 （R2 315,607千円）
 ○授業等に集中できなかったり、
 教員との関わりを強く求める
 小学1、2年生で2人の教員
 による指導を実施



小学校
3年
4年
5年
6年
中学校
1年
2年
3年



**京の子ども・少人数教育
推進費（継続）**
 予算額 3,716,201千円
 （R2 3,979,045千円）
 ○小3～6年生で30人程度の
 学級編制が可能となるよう
 教員配置を実施

**中学校少人数教育推進費
（継続）**
 予算額 107,569千円
 （R2 107,569千円）
 ○35人を超える学級規模の解消
 又は
 ○英語・数学を中心とした習熟
 度別授業の充実が可能

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	効果の上がる学力対策事業費			新規・継続の別	継 続	
予算額	116,758千円		国 庫	起 債	その他	一般財源
			39,803	—	—	76,955
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 目 的 児童生徒に確かな学力が身につくよう、基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。					
	2 内 容 (単位：千円)					
	事 項		内 容		事業費	
	小・中学校学力診断テストの実施		府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善を実施		23,070	
			小学校	中学校		
			対象：第4学年 教科：国語・算数	対象：第1・2学年 教科：国語・数学、英語(中2)		
	小学生個別補充学習 (ジュニア・わくわくスタ) 拡充		学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するための個別補充学習を実施 (教科：国語、算数等)		27,407	
	中1振り返り集中学習「ふりスタ」 拡充		中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図るため、補充学習を実施 (教科：国語、算数等)		24,952	
	中2学力アップ集中講座 拡充		中学2年生段階における基礎学力の定着と、発展学習のための集中学習を実施 (教科：国語、数学等)		24,238	
	中学生読解力向上対策事業		「読む力」「書く力」を実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、中学生を対象とした小論文グランプリ等を実施		1,000	
大学の先生に学ぼう体験事業		大学と連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成するため、出前や受け入れによる体験授業等を実施		4,000		
理科教育推進事業		理科の観察実験の機会確保と質の向上に向けた理科支援員の配置や大学教授等による指導助言を実施		7,200		
学びの深化プロジェクト		学校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等を実施し、その成果の波及により府全体の学力向上を推進		4,891		
計				116,758		
担当課名	学校教育課 指導第1係 指導第2係		電 話 番 号	075-414-5833 075-414-5840		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	新しい学び総合推進事業費			新規・継続の別	一部新規
予算額	22,539千円	国庫	起債	その他	一般財源
		1,951	—	—	20,588
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 社会の急激な変化や新学習指導要領の全面実施を見据え、子どもたちが未来の創り手になるために必要な資質・能力を着実に身につけることができるよう、家庭や地域社会等と連携を図りながら総合的な施策を推進する。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	事 項	内 容			事業費
	次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業	児童生徒の英語4技能をバランス良く育成するため、市町村や地元企業と連携し、小学校から高校までの一貫した英語教育を実施			1,000
	未来を拓く学校づくり推進事業	「認知能力」と「非認知能力」をともにバランスよく育むため、プログラムの作成等の実践研究を府内中学校区で実施			2,300
	PISA型読解力育成事業等 新規	子どもたちが将来どのような場面に直面したとしても発揮できるような、確かな読解力の育成に向けた実践研究を府内中学校で実施			1,950
	課題解決型学習推進事業	子どもたちが「学び」と「社会」との接点を実感した上で学び続けるため、府内企業等とタイアップした課題解決型学習を府内中学校で実施			3,300
	文化継承を目的とした地域創生事業 新規	郷土学習を活用しながら社会参画意識を醸成させるため、地元の文化財を題材とした課題解決型学習を府内小学校で実施			3,000
	KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業	府内の小・中学校で仕事に関する体験や地域の伝統文化や古典に関する体験活動を実施			8,800
	子どもの読書活動の推進	子ども読書本のしおりコンテストの実施			238
小・中学校等における起業体験推進事業等	起業体験活動を自立して実施するモデルを構築するとともに、域内の学校に起業体験活動を普及する。			1,951	
計				22,539	
担当課名	学校教育課 指導第1係 指導第2係 高校教育課 振興係 社会教育課 社会教育主事	電話番号		075-414-5833 075-414-5840 075-414-5859 075-414-5889	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	京都グローバル人づくり事業費			新規・継続の別	一部新規
予算額	470,410千円			国庫	一般財源
				61,250	起債
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 「聞く」、「話す」など、小・中・高校生の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、高校生の海外留学支援などを通じて、多様な文化を理解し尊重する資質や能力を備え、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成する。				
	2 内容 (単位：千円)				
	事項		内容		事業費
	①英語によるコミュニケーション能力の育成強化 424,530				
	小・中学校	小学校英語教育推進教員の配置	配置校で英語授業を実施するとともに、公開授業や研修を通じて、小学校英語教育を先導する教員を配置（40名程度）	212,880	
	中学校	英語4技能テストの実施	中学校2年生を対象に英語4技能テストを実施し、英語指導に活用	4,750	
	高校	英語指導助手の配置	JETプログラムを活用し、全府立高校等に英語指導助手を配置	206,900	
	②高校生の海外留学支援等 41,780				
	府立高校生グローバルチャレンジ事業	オーストラリアアデレード市語学研修（20人） 現地高校での授業受講等の短期留学に助成		4,000	
		英国エディンバラ市語学研修（10人） 友好提携を結ぶ同市で本格的な短期留学に助成		2,500	
		海外短期留学チャレンジ（12人） 生徒が自主的に留学先を選び、海外で将来の夢の実現に向けた短期留学に助成		2,400	
		学校主催の新しい留学プログラム 開発研究のための留学に助成（40人）		2,400	
	府立高校「海外サテライト校」事業	米・豪に2～4箇月程度の中期留学を実施（13人） 現地履修科目を在籍校の履修単位として認定など安心して留学できる環境を確保		7,930	
	府立高校生ハイブリッド型留学事業 新規	対面形式とオンライン形式のハイブリッドによる異文化理解と語学の研修を実施		20,000	

事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	事 項	内 容	事業費
	府立高校生グローバル文化カフェ事業	教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施 (例) 英語による観光ガイド 京料理等の伝統文化共同体験 等	2,550
	③教員の指導力強化		4,100
	教員向け研修会等の実施	義務教育段階での系統的な英語指導力の向上を図るため、小・中学校教員を対象に合同での研修を実施	3,100
	海外派遣研修の実施	英語教授法に関する知識と実践、異文化に対する知識と理解等を進めるため、教員をオーストラリア等の海外へ派遣し、府内に成果を波及	1,000
計			470,410
担当課名	教職員人事課 人 事 係 教職員人材育成係 学校教育課 指 導 第 1 係 高校教育課 振 興 係	電 話 番 号	075-414-5799 075-414-5784 075-414-5833 075-414-5815

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校生夢チャレンジ留学支援事業費		新規・ 継続の別	継続				
予算額	4,000千円	国庫	起債	その他	一般財源			
		—	—	4,000	—			
事業内容	<p>1 目的 経済的に困難な状況にありながらも、将来の夢の実現にチャレンジする府立高校生を支援</p> <p>2 支援内容 低所得世帯の府立高校生を対象とした留学支援を実施</p> <table border="1" data-bbox="459 1108 1390 1361"> <thead> <tr> <th>補助対象経費</th> <th>補助上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費</td> <td>1人当たり40万円</td> </tr> </tbody> </table>				補助対象経費	補助上限額	低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費	1人当たり40万円
補助対象経費	補助上限額							
低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費	1人当たり40万円							
（目的） （対象） （方法等）								
担当課名	高校教育課 振興係	電話番号	075-414-5815					

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	確かな学力を身につけるための支援事業費		新規・継続の別		継 続	
	45,184千円	国 庫	起 債	その他	一般財源	
予算額		—	—	—	45,184	
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 目 的 生徒一人一人の能力・個性を伸ばすための学力と、学校生活の基礎・基本の向上と定着を図り、「確かな学力」の学習活動につながる取組を支援する。					
	2 内 容 (単位：千円)					
	事項名		概 要		事業費	
	学力分析					
	学びの基礎診断		学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るため、学びの基礎診断の受検料を一部補助		38,143	
	学力向上					
	基礎学力補習		学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を目指す取組を支援		2,840	
	進路補習		生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得等促進に向けた取組を支援		2,506	
	大学連携教育プログラム		高校の企画に適した大学や教授をコーディネートし、魅力ある学習活動を支援		281	
	大学生教育ボランティア活用事業		教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助として活用		1,414	
担当課名	振 興 係 高 校 教 育 課 指 導 第 1 係 指 導 第 2 係	電話番号		075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	夢に応えられる府立高校づくり事業費		新規・継続の別		一部新規		
	予算額	76,092千円	国庫	起債	その他	一般財源	
			24,385	—	—	51,707	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育の実践により、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、希望進路の実現を図る。						
	2 内 容 (単位:千円)						
	事項名		概 要			事業費	
	グローバルネットワーク京都		外国語教育に特色のある学校を対象に、国際社会に貢献できるリーダーを育成			5,823	
	サイエンスネットワーク京都		理数教育に特色のある学校をネットワーク化しながら、独創的な科学研究ができる人材を育成			7,381	
	スペシャリストネットワーク京都		職業学科設置校を対象に、現在の社会・経済構造の変化に対応する真のスペシャリストを育成			4,359	
	京都フロンティア校		各校の特色に応じたテーマに基づく「魅力ある学校」づくりを推進			13,273	
	コミュニティ・スクールの導入 新規		高校への学校運営協議会制度の本格導入			3,992	
	数学オリンピック等チャレンジ事業		数学・科学に対する興味・関心や数学的・科学的なものの見方や考え方を培うため、京都大学等と連携してコンテスト等を実施			3,009	
	京都フレックス学園構想推進事業		府立清明・清新高校におけるきめ細やかな相談体制や支援体制を構築			17,430	
	WWLコンソーシアム構築支援事業		イノベティブでグローバルな人材を育成するための先進的なカリキュラムを開発・実践			10,828	
スーパーサイエンスハイスクール事業		先進的な理数系教育を実施するカリキュラムを開発・実践			3,128		
地域との協働による高校改革推進事業		地域課題の解決等の探究的な学びの実現に向けて、先進的なカリキュラムを開発・実践			6,869		
担当課名	振 興 係 指 導 第 1 係 指 導 第 2 係 高 校 改 革 係	電話番号		075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852 075-414-5153			

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	明日の京都を担う高校生育成支援事業費		新規・継続の別		継 続	
	国 庫	起 債	その他	一般財源		
予算額	11,141千円		—	—	—	11,141
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 目 的 社会で生きていくために、すべての高校生が身につけておくべき考え方や知識の習得を支援し、社会の担い手として必要な「生きる力」の育成を図る。</p> <p>2 内 容 (単位：千円)</p>					
	事 業 名		概 要		事業費	
	高校生地域とつながる事業		・ 府立高校生のボランティア活動を支援		2,847	
	主権者としての高校生育成支援事業		・ 全府立高校において、模擬選挙等を実施し、有権者として必要な政治的教養の育成を図る。		1,825	
	わたしの未来づくり支援事業		・ 職業体験などにより職業観を育成するとともに、働く上で必要な労働法規などの社会的知識の習得を図る。		3,740	
	社会的素養育成支援事業		・ 大学の研究者、専門性の高い職業人などの外部人材を活用し、生徒の学習意欲等の向上を図る。		2,729	
	合 計				11,141	
担当課名	振 興 係 高校教育課 指 導 第 1 係 指 導 第 2 係	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852			

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校産業教育充実事業費			新規・継続の別	新規
予算額	2,125,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
	(うち2月補正 2,100,000千円)	681,000	1,434,000	—	10,000
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	1 目的 府立高校の職業系専門学科において、デジタル化やスマート技術に対応した最新鋭設備の導入や関係機関等と連携した取組の実施により、産業教育の充実を図る。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	事 項	内 容			事業費
	府立高校産業教育デジタル化事業費	地域産業を牽引する人材を育成するため、最先端のデジタル化に対応した産業教育設備を導入			2,100,000 (2月補正)
	スマート農林水産業実践教育事業費	農林水産業にスマート技術を導入する機器を整備し、地域や企業等と連携した教育実践により、地域創生に資する人材を育成			20,000
専門的情報人材協働育成事業費	情報系分野の専門学校と連携した一貫カリキュラムの開発等、高・専の実践的な接続モデルの構築により、高度な専門人材を育成			5,000	
合 計				2,125,000	
担当課名	高校教育課	振興係 指導第1係	電話番号	075-414-5859 075-414-5851	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	232,368千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	232,368
事業内容	<p>1 目 的</p> <p>小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害等により教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等を先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小・中学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>※発達障害：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等</p>				
（目的）					
（対象）	<p>2 内 容</p> <p>(1) 教員配置</p> <p>発達障害等により教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、退職教員等を非常勤講師として配置</p>				
（方法等）	<p>(2) 配置効果</p> <p>○特別支援教育コーディネーターの活動（教育相談や関係機関との連携等）時間の確保</p> <p>○児童生徒一人一人の指導計画・教育支援計画の作成・活用</p> <p>○一人一人の発達障害等の状況に応じた指導の推進</p>				
担当課名	教職員人事課 人事係 特別支援教育課 指導推進係	電話番号	075-414-5799 075-414-5835		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校特別支援教育支援員配置事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	12,887千円	国庫	起債	その他	一般財源
		-	-	-	12,887
事業内容	<p>1 目 的 府立高校に在籍する発達障害等がある生徒への支援体制を整備し、府立高校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>2 内 容 発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、府立高校特別支援教育支援員を配置する。</p>				
目的 対象 方法等	配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】			
	活用方法	実習や授業における個別指導 複数の教員による指導 (チームティーチング)			
担当課名	教職員人事課 人事係 高校教育課 指導第1係 特別支援教育課 指導推進係	電話番号		075-414-5799 075-414-5851 075-414-5835	

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	羽ばたけ就労支援事業費		新規・継続の別		継 続	
	国 庫	起 債	その他	一般財源		
予算額	3, 180千円		680	—	—	2,500
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 目 的 府立特別支援学校児童生徒の職業的自立の促進、就労意欲の向上を目指すことで、企業就労につなげる。</p> <p>2 内 容 外部機関等と連携し、生徒の清掃や接客など4分野の職種別専門的スキルを客観的に評価する京しごと技能検定を実施する。</p> <p>○外部機関と連携した技能検定試験の実施（4分野） 「清掃」・「接客」・「介護」・「パソコン実務」</p> <p>○指導にあたる教員への外部機関による実技指導研修会等の実施</p> <p>○企業等に向けた技能検定発表会等の実施</p>					
担当課名	特別支援教育課 指導推進係		電話番号	075-414-5835		

令和3年度当初予算案主要事項（令和2年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援学校職業教育等充実事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	20,568千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		680	—	—	19,888
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 目 的 府立特別支援学校児童生徒の職業的自立を促進し、希望進路を実現するための職業教育及び就労支援の充実を図る。				
	2 内 容				
	事業名	内 容		事業費	
	「ふれあい・心のステーション」事業	全府立特別支援学校が参加し、生徒自らが製作品の販売や実演を行い、府民との交流や企業への理解・啓発を図る (障害者雇用支援月間(9月)に開催)		3,246	
	職業教育設備の整備	職業教育内容の充実に向けた作業学習用教材の新規・更新整備(木工・窯業機器等)		5,458	
高等部生徒の進路支援事業	進路担当教員が労働等関係機関と連携し、卒業後の進路決定に一層取り組めるよう非常勤講師を配置		11,864		
	計		20,568		
担当課名	教職員企画課 特別支援教育課	企画調整係 指導推進係	電話番号	075-414-5789 075-414-5835	